

アスベストの健康影響実態調査の概要

1 調査の概要

- (1) 調査従事者の質問方法や言葉遣い等によって回答結果が異ならないよう、調査手法等を統一するため、マニュアルを作成した。
- (2) マニュアルは、遺族調査を実施する兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市が共通で使用することとし、県及び4市の調査従事者に対して2日間(11月14日、15日)にわたって、計10時間の研修会を開催して、マニュアル内容の理解、調査留意事項の周知徹底を図るとともに、アスベストに関する基礎知識の習得等に努めた。

研修内容	講師	神戸労災病院副院長 大西 一男氏
	テーマ	アスベスト関連疾患と労災認定の状況
	講師	兵庫医科大学 教授 中野 孝司氏
	テーマ	アスベスト健康影響実態調査時の留意点
- (3) ご遺族に対しては、初回訪問前に電話をかけ、訪問の趣旨を伝え、了解をいただいたうえで訪問することにした。

なお、電話での回答内容を予め想定して、対応方法を統一している。
- (4) 聞き取り調査は、全て面談により実施することにした。
- (5) 原則として、初回面談時には調査目的を説明するとともに、調査説明用冊子を手渡し、調査票に記入を依頼し、2回目訪問時に回答内容を確認し、最終回答とした。

なお、調査説明用冊子には、遺族が質問の趣旨を理解しやすいよう、回答例を記載している。
- (6) 調査に当たっては、遺族(3親等以内の親族)から同意書をいただいた。

2 調査の留意点等

- (1) 遺族と調査者が共通に理解できるよう、調査時には、遺族にマニュアルに掲載したアスベスト製品の写真等を見て頂いた。
- (2) 初回面談時に、遺族が調査目的や調査項目を理解しやすいよう、調査様式を添付し、必要に応じて提示して説明した。
 - ・ 県及び4市がどのようにして調査対象を把握した方法を説明するために、死亡小票の様式(白紙)を添付した。
 - ・ 医療機関に対して実施するカルテ調査の内容が遺族にも理解できるよう、カルテ調査の様式(白紙)を添付した。
- (3) 調査対象者の勤務先の業態については、日本標準産業分類を参考に42業態に分類して記載することにし、必要に応じて、各業態についての説明を行った。

また、仕事の内容についても、77種類に分類して回答頂いた。